

令和3年10月6日（水）

4年生の保護者様

丹波篠山市立大山小学校
校長 足立 真一郎

丹波篠山市立大山小学校 学力・生活習慣に関する調査結果を受けて

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査（全国学力・学習状況調査）は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。

本調査について分析結果をまとめました。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、保護者・地域の皆様の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら一層の指導上の工夫改善に努めます。学校の教育活動に対して支援していただければありがたいと思います。

1 丹波篠山市学力・生活習慣状況調査（全国学力・学習状況調査）の結果について

※グラフの校内の数値は、全国平均を50とした場合の値を表しています

4年国語科

※数値公表については小規模学級のため、統計的な精度、個人情報保護の観点から非公表とします。

基本的な漢字の読み書きが十分に定着していることが分かりました。また、「情報の扱いに関する事項」については、課題が見受けられました。情報と情報との関係について理解し、考えの理由を明確にしたり、中心となる言葉を見つけ出し要約したりすることに難しさがあったようです。国語科の授業を中心に「要約する」「理由や事例をもとに自分の考えをまとめる」という活動を取り入れ、書く力を身につけるようにしていきたいと考えています。

4年算数科

※数値公表については小規模学級のため、統計的な精度、個人情報保護の観点から非公表とします。

「図形」については、十分に理解できていると考えられる結果が見受けられました。本校全体で取り組んできた、プリント学習を中心とした図形分野の補充学習の成果が出た結果と考えられます。「測定」についても良好な結果が出ています。時こくと時間や長さ・重さに対する基本的な概念の理解が見られました。また、「データの活用」では、課題が見受けられました。棒グラフを正しく読み取ったり、棒グラフの1目盛りの大きさに着目して、間違いを指摘したりすることに難しさがあったようです。算数科の授業を中心に、基本的な棒グラフ読み取りの更なる定着を図りつつ、間違えている箇所を捉える練習を意識的に取り入れていきたいと考えています。

2 生活習慣・学習習慣について

※数値公表については小規模学級のため、統計的な精度、個人情報保護の観点から非公表とします。

ほとんどの項目で良好な結果となっており、生活習慣・学習習慣が十分に身につけているようです。特に「思いやり」や「友だちと一緒に喜んだり、励ましたりすること」において良好な結果が出ており、仲間との良い人間関係の構築が見られました。「友だちのささえ」もよく、共に支え合いながら学校生活を送っているようです。一方で、他の項目と比べると「学習習慣」に少し課題があるように思われます。児童の振り返りとして、予習や復習が十分にできていないと捉えているようです。今後、予習については、算数科の授業を中心に行い、見通しを持って授業に臨めるなど予習の良さに気づかせていきます。復習については、テストの計画を事前に知らせることで主体的に復習に取り組める環境づくりに努めます。

3 学校全体での今後の取組

国語科においては、市調査、全国調査の結果から、無解答による数値の落ち込みが一部あったものの、ほとんどの項目において良好な結果となっていることがわかりました。子どもたちがあきらめずに最後まで問題に取り組もうとする意欲が向上するように努め、現在実施しているきめ細かい指導を続けていきます。

算数科においては、市調査、全国調査の結果から、文章から正しく立式できなかつたり、式を見てどのように考えて立式したのかを説明できなかつたりする児童が多いことが明らかになりました。文章問題を読んで題意を把握できるよう、月に1度、長文問題を解く時間を全校的に設け、文章問題に慣れていけるようにしていきます。また、昨年度より取り組んでいる対話を大切に学習を通して、自分の考えを相手に分かりやすく伝えたり、友だちの考え方をよく聞いて自分の考えと比較して考えたりする力をしっかりとつけていけるようにしていきます。

「生活習慣」、「学習習慣」においては、市調査の結果から、ほとんどの項目で良好な結果でした。学習習慣や生活習慣が十分に身につけているといえます。児童たちの自分の学級への思いや人間関係も良好です。少し気になるのが他の項目に比べ、「充実感と向上心」が低くなっていることです。対話を意識した学習形態やけなげ学習の取り組みも含め、様々な場面で児童自身に自信がもてるような関りを日々実践しております。今後もそのような学級・学校づくりに努めます。ご家庭におきましても日々の学習等で子どもたちの励みとなる言葉かけを今後とも引き続きお願いいたします。